

令和 3 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価に係る結果報告書

令和 4 年 1 0 月

上士幌町教育委員会

はじめに

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、収束がまだまだ見えない中ではありますが、教育委員会といたしましては「子どもたちの学びを止めない」を基本に、主要施策の執行に努めてまいりました。

「かみしほろ学園」では、総務・連携協働・研究推進の3部4グループにより、ふるさと学習の体系化をとおした持続可能な開発のための教育（ESD）や、持続可能な開発目標（SDGs）について校種間で連携して進めるとともに、学校と地域が連携し子どもを育むことをとおして、社会に開かれた教育課程の実現に取り組んでまいりました。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用しながら点検及び評価を実施し、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっております。

上士幌町教育委員会としては、点検及び評価の実施を通して施策の事業効果・課題の検証を行い、絶えず改善を図りながら、教育行政の着実な推進に努めてまいりたいと考えておりますので、町議会議員の皆様並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

項 目	事務局関係 (10.1.1)	主要な施策 教育委員会 委員経費	実 施 概 要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	第10号	担 当 名	教育推進課 総務・学教																																																																																																																										
			<p>○教育委員会協議会の開催状況(単位:回、件)</p> <table border="1" data-bbox="247 862 343 1377"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月 別</th> <th colspan="2">協議回数</th> <th colspan="2">協議案件</th> <th colspan="2">協議案件数</th> </tr> <tr> <th>協議</th> <th>報告</th> <th>協議</th> <th>報告</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>1</td><td>4</td><td>5</td><td>4</td><td>0</td><td>13</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1</td><td>1</td><td>7</td><td>3</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1</td><td>0</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>8月</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>9月</td><td>1</td><td>4</td><td>5</td><td>7</td><td>0</td><td>16</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1</td><td>0</td><td>6</td><td>2</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>12月</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td><td>9</td></tr> <tr><td>1月</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>0</td><td>8</td></tr> <tr><td>2月</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td><td>1</td><td>0</td><td>7</td></tr> <tr><td>3月</td><td>2</td><td>11</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>計</td><td>13</td><td>27</td><td>53</td><td>35</td><td>0</td><td>115</td></tr> </tbody> </table> <p>○教育委員会協議会の開催状況(単位:回、件)</p> <table border="1" data-bbox="343 862 406 1377"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催回数</th> <th colspan="2">協議件数</th> <th rowspan="2">報告</th> </tr> <tr> <th>協議</th> <th>協議</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>13</td><td>13</td><td>3</td><td>26</td></tr> </tbody> </table> <p>○総合教育協議会の開催状況</p> <table border="1" data-bbox="406 862 470 1377"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催回数</th> <th colspan="2">協議件数</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>協議調整</th> <th>案件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>2</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	月 別	協議回数		協議案件		協議案件数		協議	報告	協議	報告	その他	計	4月	1	4	5	4	0	13	5月	1	1	7	3	0	11	6月	1	0	4	0	0	4	7月	1	1	5	0	0	6	8月	1	2	4	2	0	8	9月	1	4	5	7	0	16	10月	1	1	3	2	0	6	11月	1	0	6	2	0	8	12月	1	0	3	6	0	9	1月	1	2	2	4	0	8	2月	1	1	5	1	0	7	3月	2	11	4	4	0	19	計	13	27	53	35	0	115	開催回数	協議件数		報告	協議	協議	13	13	3	26	開催回数	協議件数		その他	協議調整	案件	1	2	—	—	<p>教育委員会は、4名の教育委員により、教育に関する諸課題、教育環境の整備等について審議している。</p> <p>委員協議会は、教育委員会との前段に開催。</p> <p>学校長を招いての学校経営説明会、授業での児童生徒との連携を図り、本町の教育目標に沿った教育推進を期し、教育に携わっている主要な事業について審議した。</p>	1,790	第10号	教育推進課 総務・学教
月 別	協議回数		協議案件		協議案件数																																																																																																																														
	協議	報告	協議	報告	その他	計																																																																																																																													
4月	1	4	5	4	0	13																																																																																																																													
5月	1	1	7	3	0	11																																																																																																																													
6月	1	0	4	0	0	4																																																																																																																													
7月	1	1	5	0	0	6																																																																																																																													
8月	1	2	4	2	0	8																																																																																																																													
9月	1	4	5	7	0	16																																																																																																																													
10月	1	1	3	2	0	6																																																																																																																													
11月	1	0	6	2	0	8																																																																																																																													
12月	1	0	3	6	0	9																																																																																																																													
1月	1	2	2	4	0	8																																																																																																																													
2月	1	1	5	1	0	7																																																																																																																													
3月	2	11	4	4	0	19																																																																																																																													
計	13	27	53	35	0	115																																																																																																																													
開催回数	協議件数		報告																																																																																																																																
	協議	協議																																																																																																																																	
13	13	3	26																																																																																																																																
開催回数	協議件数		その他																																																																																																																																
	協議調整	案件																																																																																																																																	
1	2	—	—																																																																																																																																

- 学校訪問の実施 (町内小中高及び子ども園) 7月5日・6日 (2日間)
- 管外視察研修の実施 10月19日～20日 (2日間)
 - ・地域に根差した特色ある施設... 美幌町
 - ・全国初の義務教育学校 斜里町
 - ・新しい学校の視点 大空町
 - ・地域に根差した特色ある事業... 津別町
- その他、町理事者との意見交換、町内各小中高等学校の行事など積極的に参加した。

項目	主要な施策	実施	概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当	名						
	教職員住宅維持管理経費	<p>○教職員住宅の維持管理(全26戸) ・入居者からの要望等に基づき、随時、修繕工事を進めている。 ・令和3年度修繕工事件数(19件) 1,021,249円</p> <p>○教職員住宅改修工事(2戸) ・請負額 : 3,190,000円 ・工事請負先 : ㈱森岡建設 ・工事内容 : 外壁サイディング、防水コーキング改修工事</p>		<p>教職員の異動に伴う住宅の確保のため、住宅修繕箇所等の実施し、管理的に住環境の整備を進めていく必要がある。</p>	4,420	第10号	教育推進課 総務・学教							
	外国語指導助手業務経費	<p>民間会社への委託により、外国語指導助手のジュリアン・ロレアノ氏を各学校等に派遣し、英語指導、国際理解教育の推進に努めた。 小学校は月・水・金曜日、中学校は木曜日、高校は火曜日に派遣している。</p> <p>○活動内容・派遣回数 <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>49回</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>35回</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>35回</td> </tr> </table> </p>	小学校	49回	中学校	35回	高校	35回		<p>外国語活動の充実を図るため、上士幌小学校にA.L.Tを配置し、中学校、上士幌高校へも派遣している。 学習指導要領の改訂に基づき、小学校において、令和2年度から外国語が教科化されたが、A.L.Tと子どもたちが触れ合う取組を継続し、国際理解教育の推進に努める必要がある。</p>	5,390	当初	教育推進課 総務・学教	
小学校	49回													
中学校	35回													
高校	35回													
	北海道上士幌高等学校振興会助成事業	<p>北海道上士幌高等学校振興会への補助 補助金額 43,350,000円</p> <p>【主な事業費の内訳】 通学費補助 24,648,830円 (110名) 入学準備金 1,320,000円 (17名) 修学旅行費補助 2,340,000円 (39名) 各種検定補助 502,300円 (漢字・英検・ビジネス文書実務・簿記等) 就学援助費 169,000円 (町内在住世帯) 部活動補助 2,891,926円 (10名 : ユニホーム、用具代、部活動通学補助) 熱気球部補助 1,016,600円 (各種イベント・行事へ参加支援他) 制服代補助 2,876,489円 (55名) 学力向上推進教育費 942,562円(大学訪問バス代、進学講習指導) 学力向上進学対策費 2,563,428円 (時間講師、予備校受講費、模試受験料、進路講習通学補助等) 各種奨学金 1,840,000円 (大学3名、短大・専門学校4名、進学特待15名) 広報活動費 923,913円(学校案内、広報大地、生徒募集等) 上士幌高等学校案内看板 238,700円</p>		<p>本町ならではの魅力と特色を持った高等学校づくりを支援している。 上士幌町教育魅力化ワーキンググループによる研修や会議、企業と連携した取組など、振興策と合わせ、様々な取組を進めている。 十勝管内における中学校卒業生数の減少が見込まれており、生徒確保に向けて、難しい状況にある。 今後、地域にとっても魅力ある高校づくりに向け、様々な機関と連携して取り組みが必要がある。</p>	43,350	第10号	教育推進課 総務・学教							

項目	主要な施策	実施	施設	概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当名
	まなびの広場 開設	<ul style="list-style-type: none"> ・上土幌町教育魅力化ワーキンググループ研修(8/30、3/23) ・就職希望者企業説明会(7/6、7/7)3年生対象 8企業参加 	<ul style="list-style-type: none"> ①長期休業期間中の「まなびの広場」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・上土幌中学校生徒及び上土幌高等学校生徒を対象とした、自学自習の場の提供や学習サポート(デジタルドリル等)の実施 ・探究的な学びを進めるワークショップ等の実施 ・夏期講習 10日間 中学生152名 高校生62名 計214名 (延人数) ・冬期講習 8日間 中学生119名 高校生111名 計230名 (延人数) ②上土幌高等学校への深い学びの推進に向け、多様な学びの機会を提案 <ul style="list-style-type: none"> ・高校の「主体的・対話的で深い学び」の推進に向け、多様な学びの機会を提案 ・2年生を対象に、プレゼンテーションのスキルアップと自己アンサー力の向上を図るため、17コマ(11月～2月)のオンラインインサポートを実施 (2) 受託事業者 ㈱あしたの寺子屋 (3) 委託料 6,875,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・上土幌町教育魅力化ワーキンググループ研修(8/30、3/23) ・就職希望者企業説明会(7/6、7/7)3年生対象 8企業参加 	<p>新たに上土幌高校生を対象に加え、中高の連携が図られ参加生徒の増加に結びついた。大学生や社会人スタッフとの会話やワークショップを通して、視野や世界観が広がったという参加生徒の声が多かった。上土幌高校生徒会企画により、中学生間に交流が生まれ、地元高校生の上土幌高校や上土幌高校生に対するイメージアップにつながった。</p> <p>上土幌高校のプレゼン講座は、2年生自らがテーマ設定、スライド作成、発表まで実施してきたことにより、参加生徒の自信を深めるサポートにつながった。</p>	6,875	当初	教育推進課 総務・学教
	教育専門指導 員設置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・教育現場に精通した見識豊かな人材を配置し、子どもたちの学力・体力の向上や教育ビジョンの具現化に向けた「かみしほろ学園」の取組、さらに上土幌高校振興会との連携など、指導的な役割を果たしている。 				<p>教職員の働き方改革(アクションプラン)の具体的実践や、学校改善プランの実施に向けたサポートなど指導的役割を果たしている。</p> <p>かみしほろ学園推進のための「幼小中高」のサポートを実施し校種間連携等に努めている。コロナ禍ではあるが、学びを止めないため、教育現場の課題の把握や新採教職員への指導を引き続き行っていく必要がある。</p>	4,992	第10号	教育推進課 総務・学教
	プログラミン グ教育推 進業 事	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育教材pepper(ベッパ)の利用及び外部講師の招聘を行い、小学校において授業支援を実施した。 ・pepper台数 上土幌小: 7台(上高へ2台、図書館へ1台貸出対応) 上土幌中: 3台 				<p>学習指導要領の改訂に基づき、令和元年度から、ICT教材を活用したプログラミング教育を実施している。</p> <p>今後も引き続き、外部講師等の協力を得ながら、児童生徒の</p>	2,759	第10号	教育推進課 総務・学教

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当 名																																													
		<p>・十勝EdTechコンソーシアムとの連携協定 (令和3年度活動実績) 上士幌小：3回(5時間) 講師：帯広コア専門学校 学生5名、引率者1名 計6名</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業</p> <p>長引く新型コロナウイルスの感染防止対策により、学生の日常生活にも影響が及ぼされ、学費や生活費の捻出について、困難な状況にあることから、学生等に対して「応援物資」を支給するもの。</p> <p>・対象：学生(大学生・短大生・高等専門学校生・専修学校・職業能力開発校等) ・応援物資：町の地場産品、食料品、日用品等 1万円相当 ・人数：55人</p>		<p>情報活用能力や論理的な思考力の醸成に向けた取組を進める必要がある。</p> <p>新型コロナウイルスの影響を受けている学生に対し、応援物資を支給することにより経済的支援を実施した。 新型コロナウイルスの収束が見通せない中、支援のあり方について検討が必要である。</p>	900	第10号	教育推進課 総務・学教																																													
	発達支援センター事業	<p>(1)障害児通所支援事業所(にここ教室・ユースクラブ) 児童発達支援(にここ教室)放課後等デイサービス(ユースクラブ)</p> <table border="1"> <tr> <td>実利用人数</td> <td>8人</td> <td>委託回数</td> <td>20回</td> <td>委託額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>177回</td> <td></td> <td>450回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2)発達支援専門相談・指導業務委託</p> <table border="1"> <tr> <td>委託先</td> <td>委託回数</td> <td>委託額</td> </tr> <tr> <td>氏家医院 作業療法士</td> <td>5回</td> <td>266,600円</td> </tr> <tr> <td>プリンタ 心理判定員</td> <td>10回</td> <td>275,000円</td> </tr> <tr> <td>北斗病院</td> <td>4回</td> <td>199,375円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19回</td> <td>740,975円</td> </tr> </table> <p>(3)発達相談</p> <table border="1"> <tr> <td>発達相談</td> <td>利用人数</td> <td>347人</td> </tr> <tr> <td>発達検査</td> <td>利用人数</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>言語相談</td> <td>利用人数</td> <td>3人</td> </tr> </table> <p>(4)保育所・こども園・学校訪問・教育相談</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問</td> <td>教育相談等</td> </tr> <tr> <td>こども園訪問</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>学校訪問</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>56回</td> </tr> </table> <p>(5)相談支援</p> <table border="1"> <tr> <td>相談支援</td> <td>54人</td> </tr> </table>	実利用人数	8人	委託回数	20回	委託額		利用回数	177回		450回			委託先	委託回数	委託額	氏家医院 作業療法士	5回	266,600円	プリンタ 心理判定員	10回	275,000円	北斗病院	4回	199,375円	計	19回	740,975円	発達相談	利用人数	347人	発達検査	利用人数	39人	言語相談	利用人数	3人	訪問	教育相談等	こども園訪問	36回	学校訪問	17回		56回	相談支援	54人	<p>各機関への訪問やオンラインレッスンを実施することで、関係者との情報の共有ができ、保護者への対応などをスムーズに実施することができている。今後も継続し取り組んでいくこととする。</p> <p>発達検査体制を整えることにより、保護者を含め関係者への働きかけの理解を深めることとすることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、5・6・9・2・3月の地域開放事業は中止した。しかし、通所支援事業と発達相談は平常どおり開所し、子どもたちの平常どおりの発散の場としての活動できるように努めた。</p>	1,918	第10号	教育推進課 発達支援
実利用人数	8人	委託回数	20回	委託額																																																
利用回数	177回		450回																																																	
委託先	委託回数	委託額																																																		
氏家医院 作業療法士	5回	266,600円																																																		
プリンタ 心理判定員	10回	275,000円																																																		
北斗病院	4回	199,375円																																																		
計	19回	740,975円																																																		
発達相談	利用人数	347人																																																		
発達検査	利用人数	39人																																																		
言語相談	利用人数	3人																																																		
訪問	教育相談等																																																			
こども園訪問	36回																																																			
学校訪問	17回																																																			
	56回																																																			
相談支援	54人																																																			

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名																																																
認定こども園関係 (10.1.2)	保育教育状況	<p>(6)発達支援事業 地域開放</p> <table border="1"> <tr> <td>幼児</td> <td>6回</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>小学生以上</td> <td>25回</td> <td>62人</td> </tr> </table> <p>(7)職員の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>障害児通所支援事業所</td> <td>課長</td> <td>保育士指導員</td> <td>専門員</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>子ども相談支援事業所</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>管理責任者</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>発達支援センター専門員</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> </table> <p>令和3年度の入園児童数 年度当初157名 (最大171名/1月末) (就学前児童数実人数:最大215名)</p> <p>[保育教育目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信を持ち、共同生活の中で信頼関係を築くこども ・身の回りのものに興味関心を持つこども ・遊びを通して創造性豊かなこども ・生活に必要な習慣が身につく心身共に健康に過ごせるこども ・人の話を聞き、自分の思いを伝えるこども 	幼児	6回	50人	小学生以上	25回	62人	障害児通所支援事業所	課長	保育士指導員	専門員	計	子ども相談支援事業所		1	1	2	管理責任者			1	2	発達支援センター専門員			1	1	合計	1	2	2	1					6	<p>令和4年度より子育て世代包括支援センター(基本型)が開設となる。</p> <p>子育て世代の保護者の総合的窓口となり、母子保健型と連携し妊娠から18歳までの途切れのない支援体制の確立に努めていく必要がある。</p>																
幼児	6回	50人																																																					
小学生以上	25回	62人																																																					
障害児通所支援事業所	課長	保育士指導員	専門員	計																																																			
子ども相談支援事業所		1	1	2																																																			
管理責任者			1	2																																																			
発達支援センター専門員			1	1																																																			
合計	1	2	2	1																																																			
				6																																																			
認定こども園	保育教育課			<p>幼連携型認定こども園教育課程に沿った計画的な幼児教育と保育の充実に努めている。</p> <p>遊びを通じた身体づくりを進め、ほろん森では挑戦する心を育み自然体験学習や水泳体験、国際理解教育の推進等、特徴のある取組を継続している。</p> <p>また、児童数に見合う職員体制を確保し様々な研修機会の向上を通して実践的指導力の向上に努めている。</p>			幼児教育課 認定こども園																																																
管理運営事業	管理運営事業	<p>(1)入園状況等</p> <table border="1"> <tr> <td>0歳児</td> <td>1歳児</td> <td>2歳児</td> <td>3歳児</td> <td>4歳児</td> <td>5歳児</td> <td>計</td> <td>保育日数</td> </tr> <tr> <td>年度当初</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>40</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>年度末</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>170</td> <td>242</td> </tr> </table> <p>(単位:人・日)</p> <p>(2)利用者負担金徴収状況</p> <table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>調定額</td> <td>徴収額</td> <td>未納額</td> <td>収納率</td> </tr> <tr> <td>預かり・延長・一時保育負担金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>季節保育負担金</td> <td>254,940</td> <td>0</td> <td>254,940</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>71,720</td> <td>0</td> <td>71,720</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>326,660</td> <td>0</td> <td>326,660</td> <td>0.0</td> </tr> </table> <p>※預かり・延長:月額11,300円まで、一時保育:月額37,000円まで無料</p>	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	保育日数	年度当初	3	14	33	30	37	40	157	年度末	12	17	32	35	42	170	242	内訳	調定額	徴収額	未納額	収納率	預かり・延長・一時保育負担金	0	0	0	0.0	季節保育負担金	254,940	0	254,940	0.0	計	71,720	0	71,720	0.0		326,660	0	326,660	0.0	<p>未満児を含めた保育料の完全無料化を継続しているほか、令和元年10月からは、預かり・延長保育料や一時保育負担金においても、それぞれ上限額までの無料化が進んでいる。</p> <p>入園児童数に見合う職員体制の確立と保育スペースの有効活用を図っているが、園児数が減少する傾向にある中、ゆとりある教育・保育の環境づくりに努めることができている。</p>	49,368	第10号	幼児教育課 認定こども園
0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	保育日数																																																
年度当初	3	14	33	30	37	40	157																																																
年度末	12	17	32	35	42	170	242																																																
内訳	調定額	徴収額	未納額	収納率																																																			
預かり・延長・一時保育負担金	0	0	0	0.0																																																			
季節保育負担金	254,940	0	254,940	0.0																																																			
計	71,720	0	71,720	0.0																																																			
	326,660	0	326,660	0.0																																																			

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当 名																																																																																																													
		<p>(3) 職員の状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <td>課長</td> <td>園長・事務補</td> <td>保育教諭</td> <td>栄養士</td> <td>調理員</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2(2)</td> <td>34(10)</td> <td>1</td> <td>3(3)</td> <td>41(15)</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>パート</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>18</td> </tr> </table> <p>※保育教諭には主幹及び育休取得者4人を含む。 () は内数であり会計年度任用職員…準職7・その他8 国際交流推進員及び英語指導助手 (ALT) を含まない。</p> <p>(4) 子育て支援の状況 ・遊びの広場 (親子支援)</p> <table border="1"> <tr> <th>支援内容</th> <th>対象者</th> <th>回数</th> <th>親子参加数</th> <th>組数</th> <th>平均参加数</th> </tr> <tr> <td>すくすく広場</td> <td>2歳未満</td> <td>43</td> <td>484人</td> <td>228組</td> <td>11.3人</td> </tr> <tr> <td>なかよし広場</td> <td>0歳～未就学 (なかよしチャレンジを含む)</td> <td>194</td> <td>1,798人</td> <td>801組</td> <td>9.3人</td> </tr> <tr> <td>ベビーズ広場</td> <td>0歳～1歳誕生日まで</td> <td>90</td> <td>374人</td> <td>188組</td> <td>4.2人</td> </tr> <tr> <td>ちいさな広場</td> <td>0歳～未就学</td> <td>87</td> <td>4人</td> <td>2組</td> <td>0.1人</td> </tr> <tr> <td>合</td> <td></td> <td>414</td> <td>2,660人</td> <td>1,219組</td> <td>6.4人</td> </tr> </table> <p>・妊産期支援 (マミーズ広場)</p> <table border="1"> <tr> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>31回</td> <td>21人</td> </tr> </table> <p>・一時保育利用状況 (単位：日・時間・人)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年間利用状況</th> <th colspan="5">利用年齢内訳</th> </tr> <tr> <th>月平均</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>187</td> <td>15.5</td> <td>72</td> <td>85</td> <td>0</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>利用時間</td> <td>1879.5</td> <td>156.6</td> <td>204</td> <td>85</td> <td>0</td> <td>361</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>351</td> <td>29.2</td> <td>一時保育負担金</td> <td colspan="2">0円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※一時保育：月額37,000円まで無料、1歳児以上対象</p> <p>・こども園開放日の状況</p> <table border="1"> <tr> <th>認定こども園</th> <th>回数</th> <th>参加人数(組)</th> <th>開放日</th> </tr> <tr> <td></td> <td>2回</td> <td>4人</td> <td>2組</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>第2木曜日</td> </tr> </table>	課長	園長・事務補	保育教諭	栄養士	調理員	計	1	2(2)	34(10)	1	3(3)	41(15)						パート						18	支援内容	対象者	回数	親子参加数	組数	平均参加数	すくすく広場	2歳未満	43	484人	228組	11.3人	なかよし広場	0歳～未就学 (なかよしチャレンジを含む)	194	1,798人	801組	9.3人	ベビーズ広場	0歳～1歳誕生日まで	90	374人	188組	4.2人	ちいさな広場	0歳～未就学	87	4人	2組	0.1人	合		414	2,660人	1,219組	6.4人	回数	参加人数	31回	21人	年間利用状況	利用年齢内訳					月平均	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	利用日数	187	15.5	72	85	0	計	利用時間	1879.5	156.6	204	85	0	361	延べ人数	351	29.2	一時保育負担金	0円			認定こども園	回数	参加人数(組)	開放日		2回	4人	2組				第2木曜日	<p>滞納保育料は、平成29年度に一部納入が進んだが、それ以降徴収することができない。居所がわかる場合など、収納担当課等と連携した対応が求められている。</p> <p>コロナ禍であつても親子の交流や居場所やその保護者が相互の交流を行う広場の取組の充実を図り、子育てに関する情報提供と親子の絆づくりと子育てから喜びを得る機会の提供に努める必要がある。</p> <p>妊産期支援事業と親子のふれあいマッサー事業を健康増進センターから移行して実施するなど、一体的な子育て支援策の充実に向けている。利用者は増える傾向にあり、今後も保護者のニーズに寄り合い、活用の充実に努める必要がある。</p> <p>育児サークル活動が活性化するように、サークル会員との交流を図っているが、入会者の増加と活動継続に向けた取組が必要である。</p>			
課長	園長・事務補	保育教諭	栄養士	調理員	計																																																																																																														
1	2(2)	34(10)	1	3(3)	41(15)																																																																																																														
					パート																																																																																																														
					18																																																																																																														
支援内容	対象者	回数	親子参加数	組数	平均参加数																																																																																																														
すくすく広場	2歳未満	43	484人	228組	11.3人																																																																																																														
なかよし広場	0歳～未就学 (なかよしチャレンジを含む)	194	1,798人	801組	9.3人																																																																																																														
ベビーズ広場	0歳～1歳誕生日まで	90	374人	188組	4.2人																																																																																																														
ちいさな広場	0歳～未就学	87	4人	2組	0.1人																																																																																																														
合		414	2,660人	1,219組	6.4人																																																																																																														
回数	参加人数																																																																																																																		
31回	21人																																																																																																																		
年間利用状況	利用年齢内訳																																																																																																																		
	月平均	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳																																																																																																													
利用日数	187	15.5	72	85	0	計																																																																																																													
利用時間	1879.5	156.6	204	85	0	361																																																																																																													
延べ人数	351	29.2	一時保育負担金	0円																																																																																																															
認定こども園	回数	参加人数(組)	開放日																																																																																																																
	2回	4人	2組																																																																																																																
			第2木曜日																																																																																																																

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予算 区分	担当 名																												
		<p>(6)子育てサポート事業</p> <table border="1"> <tr> <td>利用申請</td> <td>25件</td> <td>依頼会員数</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td>367人</td> <td>協力会員数</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>利用時間</td> <td>237.5時間</td> <td>両方会員数</td> <td>3人</td> </tr> </table> <p>(7)遠距離通園補助金交付状況</p> <table border="1"> <tr> <td>交付者数</td> <td>32名</td> <td>交付額</td> <td>1,635,520円</td> </tr> <tr> <td>前期</td> <td>33名</td> <td></td> <td>1,420,880円</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>-</td> <td></td> <td>3,056,400円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32名</td> <td>3,046,680円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※参考：前年度合計</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	利用申請	25件	依頼会員数	29人	利用人数	367人	協力会員数	16人	利用時間	237.5時間	両方会員数	3人	交付者数	32名	交付額	1,635,520円	前期	33名		1,420,880円	後期	-		3,056,400円	合計	32名	3,046,680円			<p>利用件数の大幅な増加が図られ、コロナ禍におけるエンセーショナルカーに対する臨時的な対応を進めている。 また、安心して子どもを預けることができよう、複数回の独自講習会を開催し、サポート事業の担い手の育成に努めることができている。 遠距離通園に要する保護者の経済的な負担軽減策として、今後も継続して支援する必要がある。</p>			
利用申請	25件	依頼会員数	29人																																
利用人数	367人	協力会員数	16人																																
利用時間	237.5時間	両方会員数	3人																																
交付者数	32名	交付額	1,635,520円																																
前期	33名		1,420,880円																																
後期	-		3,056,400円																																
合計	32名	3,046,680円																																	
異文化交流推進		<p>幼児期から国際理解教育の推進と外国語活動の充実を図るほか、異文化に触れる機会を提供するため、国際交流推進員と外国語指導講師を配置している。</p> <p>[国際交流推進員設置経費 (1名)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 給料 3,464,400円 職員手当 737,825円 共済費 774,568円 負担金 1,311,909円 合計 6,288,702円 <p>[外国語指導講師設置経費 (ALT 1名)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 5,390,000円 委託先 株式会社インタラクティブ北日本札幌支店 業務内容 国際理解教育、英語教育に関するコンサルティング、レッスンの企画及び提案、外国語指導講師による英語指導業務他 <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	<p>幼児期から国際理解教育の推進と外国語活動の充実を図るほか、異文化に触れる機会を提供するため、国際交流推進員と外国語指導講師を配置している。</p>	<p>園内における生活や遊びの中心で交流が進み、幼少期から外国語に慣れ、異文化に興味関心を抱くことができている。 本町の教育・保育活動における特徴的な取組として、継続して取り組む考えである。 国際交流推進員は小学校低学年の外国語活動を担っているなど、小学校との連携した取組を進めることができている。また、SDGsプロジェクトメンバーとしての関わりのほか、海外の高校生と園児・中学生とのオンライン交流を実現している。 今後も町内在住の外国人のほか、町民との交流が進むよう、推進員とALTが効果的に関わる取組を進める必要がある。</p>	11,678	当初	幼児教育課 認定こども園																												
独自給食事業		<p>認定こども園で給食の提供を行った。</p> <p>(1)供給実績</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>分</td> <td>給食提供量</td> <td>おやつ提供量</td> <td>提供日数</td> </tr> <tr> <td>認定こども園</td> <td></td> <td>43,739食</td> <td>31,828食</td> <td>242日</td> </tr> </table>	区分	分	給食提供量	おやつ提供量	提供日数	認定こども園		43,739食	31,828食	242日	<p>給食指導と食育指導の充実に努めるため、十分な提供量を維持している。また、職員への主食提供を開始するなど安全でおいしい給食を味わい、共感でき</p>	11,498	当初	幼児教育課 認定こども園																			
区分	分	給食提供量	おやつ提供量	提供日数																															
認定こども園		43,739食	31,828食	242日																															

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名									
小学校関係(学校管理費)(10.2.1)	学校ICT環境整備事業	<p>(2)職員給食費徴収状況 (単位:円・%)</p> <table border="1"> <tr> <td>調査額</td> <td>徴収額</td> <td>未納額</td> <td>収納率</td> </tr> <tr> <td>1,517,130</td> <td>1,517,130</td> <td>0</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>※一食184円</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p> <p>学校の校務で利用するパソコン及び周辺機器等について、保守期間が終了することから、Web会議やオンライン研修等でも活用できるパソコン端末等の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務用ノートパソコン 36台 	調査額	徴収額	未納額	収納率	1,517,130	1,517,130	0	100.0	<p>取組を進めている。食育活動の充実を図るため、地場食材の利用を継続して取り組むほか、食育指導や効率的な調理作業を進めるため、先進施設から講師を招聘するなど、職員研修の充実を努める必要がある。</p> <p>従来の校務用パソコンより機能性の高い機種を整備したことにより、Web会議やオンライン研修、授業等の活用が期待される。今後計画的に機器の更新を図っていく必要がある。</p>	9,768	第8号	教育推進課 総務・学教	
調査額	徴収額	未納額	収納率												
1,517,130	1,517,130	0	100.0												
小学校関係(教育振興費)(10.2.2)	空調設置事業	<p>児童及び教職員の熱中症対策として、空調設備(エアコン)を設置し、学習環境の整備を図るため、空調設置に係る工事設計を実施した。</p> <p>小学校空調設備実施設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・請負額 : 1,892,000円 ・設計請負先 : 榎谷津設計 ・設計内容 : 設置箇所21室(普通教室17、特別教室1、保健室1、職員室1、校長室1) 	<p>翌年度の空調設備設置に向け、実施設計が完了した。今後、学習環境の整備を図っていく必要がある。</p>	1,892	第10号	教育推進課 総務・学教									
小学校関係(教育振興費)(10.2.2)	教科補助教材整備	<p>児童一人当たり2,000円の補助教材費を小学校へ配当した。</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	<p>補助教材費購入費の保護者負担を軽減する対策を進めた。今後、使用教材の変化を見極めながら、負担軽減策を検討していきたい。</p>	450	第10号	教育推進課 総務・学教									
児童援助要・児童保護	児童保護要	<p>保護者からの申請に基づき、学校長の意見も参考としながら、認定と就学援助費の支出に係る事務を進めた。</p> <p>(就学援助費支給の内訳) 単位:円</p> <table border="1"> <tr> <td>費用</td> <td>対象児童</td> <td>支給金額</td> </tr> <tr> <td>学用品費等</td> <td>37人</td> <td>514,946</td> </tr> <tr> <td>給食</td> <td>37人</td> <td>1,461,495</td> </tr> </table> <p>※R3小学校児童数:227名 ※新入学用品の前年度支給額(102,120円)を含む。</p>	費用	対象児童	支給金額	学用品費等	37人	514,946	給食	37人	1,461,495	<p>家庭の経済的な理由により、就学に困難が生じぬよう、児童の保護者に対する就学援助費の支給を進めた。令和3年度は学校臨時休業により学校給食が休止したことか、保護者の費用負担軽減のため、</p>	2,633	第10号	教育推進課 総務・学教
費用	対象児童	支給金額													
学用品費等	37人	514,946													
給食	37人	1,461,495													

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名																					
		<table border="1"> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>5人</td> <td>255,300</td> </tr> <tr> <td>P.T.A.会費</td> <td>26人</td> <td>81,685</td> </tr> <tr> <td>体育実技費</td> <td>10人</td> <td>109,552</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>5人</td> <td>115,995</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代</td> <td>5人</td> <td>55,000</td> </tr> <tr> <td>昼食代</td> <td>36人</td> <td>39,060</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>2,633,033</td> </tr> </table>	新入学用品費	5人	255,300	P.T.A.会費	26人	81,685	体育実技費	10人	109,552	修学旅行費	5人	115,995	卒業アルバム代	5人	55,000	昼食代	36人	39,060	計		2,633,033	<p>給食費相当分の昼食代を支給した。 今後も引き続き就学援助制度の周徹底を進め、援助を必要とする保護者へ寄り添う取組となるよう負担軽減策を検討していきたい。</p>			
新入学用品費	5人	255,300																									
P.T.A.会費	26人	81,685																									
体育実技費	10人	109,552																									
修学旅行費	5人	115,995																									
卒業アルバム代	5人	55,000																									
昼食代	36人	39,060																									
計		2,633,033																									
学校図書事業 図書整備事業	<p>文部科学省の施策の学校図書整備等5カ年計画及び上士幌町子ども読書推進計画(令和3年3月策定)に基づき学校図書の整備</p> <p>【上士幌小学校】 37冊購入 蔵書冊数10,513冊 標準冊数達成率120%</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	<p>子ども読書推進計画に基づき、学校図書の整備に努めた。子ども自身や読書に関わる図書や読書活動の推進を図る。標準蔵書冊数は達成しているが、本と出会う機会をつくるため、今後も学級文庫等の取組や児童会活動と連携し、本の更新を進めていく。</p>	226	当初	教育推進課 総務・学教																						
特別支援教育 施設	<p>上士幌小学校に特別支援教育支援員を配置し、障がいのある児童の介助や学習上のサポートを実施した。</p> <p>・配置先：上士幌小学校 ・配置数：3名</p>	<p>支援員の配置により、発達の違いや障がいのある児童に対し、適切なサポートを進めることのできる。今後も、支援を要する児童の把握に努め、必要がある。</p>	10,987	第10号	教育推進課 総務・学教																						
小学校教育 充実	<p>上士幌小学校における少人数指導の推進と、35人以下学級確立の取組を進めた。</p> <p>・ICT推進担当教諭を小・中学校に派遣し、教員のICT活用や研修、授業活用の支援を実施した。</p> <p>・配置先：上士幌小学校、教育委員会 ・配置数：T T 4名、専科教諭2名、ICT推進担当教諭1名</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	<p>学力、体力の向上と体験活動の充実を図るなど、子どももデジタルで定めた目標に努めた。画像を具現化する取組に努め、今後も、個々に応じたきめ細やかな指導体制を確立するため、必要な人材の確保に努める。</p>	36,710	第10号	教育推進課 総務・学教																						

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名																														
中学校関係(学校管理費)(10.3.1)	空調設備設置事業	生徒及び教職員の熱中症対策として、空調設備(エアコン)を設置し、学習環境の整備を図るため、空調設置に係る工事設計を実施した。 中学校空調設備実施設計業務 ・請負額 : 1,848,000円 ・設計請負先 : ㈱エリ建築設計室 ・設計内容 : 設置箇所10室(普通教室7、保健室1、職員室1、校長室1)	翌年度の空調設備設置に向けて、実施設計が完了した。今後、学習環境の整備を図っていく必要がある。	1,848	第10号	教育推進課 総務・学教																														
中学校関係(教育振興費)(10.3.2)	要・準要保護児童支援	保護者からの申請に基づき、学校長の意見も参考としながら、認定と就学援助費の支出に係る事務を進めた。 (就学援助費支給の内訳) 単位:円 <table border="1"> <tr><td>費用</td><td>対象生徒</td><td>支給金額</td></tr> <tr><td>学用品費</td><td>28人</td><td>748,790</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>28人</td><td>1,494,561</td></tr> <tr><td>新入学用品</td><td>6人</td><td>360,000</td></tr> <tr><td>P T A 会費</td><td>22人</td><td>73,326</td></tr> <tr><td>部費</td><td>19人</td><td>233,600</td></tr> <tr><td>生徒会費</td><td>28人</td><td>16,800</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>8人</td><td>460,800</td></tr> <tr><td>卒業アルバム代</td><td>8人</td><td>70,400</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>3,458,280</td></tr> </table> ※R3中学校生徒数:129名 ※新入学用品の前年度支給額(240,000円)を含む。	費用	対象生徒	支給金額	学用品費	28人	748,790	給食費	28人	1,494,561	新入学用品	6人	360,000	P T A 会費	22人	73,326	部費	19人	233,600	生徒会費	28人	16,800	修学旅行費	8人	460,800	卒業アルバム代	8人	70,400	計		3,458,280	家庭の経済的な理由により、就学に困難が生じぬよう、生徒の保護者に対する就学援助費の支給を進めた。 今後、引き続き就学援助制度の周知徹底を進め、援助を必要とする保護者へ寄り添う取組とすることを検討していきたい。	3,458	第10号	教育推進課 総務・学教
費用	対象生徒	支給金額																																		
学用品費	28人	748,790																																		
給食費	28人	1,494,561																																		
新入学用品	6人	360,000																																		
P T A 会費	22人	73,326																																		
部費	19人	233,600																																		
生徒会費	28人	16,800																																		
修学旅行費	8人	460,800																																		
卒業アルバム代	8人	70,400																																		
計		3,458,280																																		
スクールバス運行事業	スクールバス	委託先所有バスを活用し、3路線の運行事業を実施した。 ・委託事業者:北海道拓殖バス株式会社 上士幌タクシー有限公司 ・委託料:20,331,300円 路線別児童生徒乗車人員 <table border="1"> <tr><th>路線名</th><th>小学生</th><th>中学生</th><th>高校生</th><th>計</th></tr> <tr><td>北門・萩ヶ岡・北居辺</td><td>10人</td><td>9人</td><td>0人</td><td>19人</td></tr> <tr><td>北門・東居辺・北居辺</td><td>13人</td><td>2人</td><td>0人</td><td>15人</td></tr> <tr><td>上</td><td>10人</td><td>4人</td><td>1人</td><td>15人</td></tr> <tr><td>計</td><td>33人</td><td>15人</td><td>1人</td><td>49人</td></tr> </table>	路線名	小学生	中学生	高校生	計	北門・萩ヶ岡・北居辺	10人	9人	0人	19人	北門・東居辺・北居辺	13人	2人	0人	15人	上	10人	4人	1人	15人	計	33人	15人	1人	49人	遠距離児童生徒の通学対策はもとより、少年団所属の児童の送迎に係る負担軽減に努めた。 児童生徒の通学にかかる時間に配慮し、路線の検討と利用するバス台数の確保に留意する必要がある。	20,331	当初	教育推進課 総務・学教					
路線名	小学生	中学生	高校生	計																																
北門・萩ヶ岡・北居辺	10人	9人	0人	19人																																
北門・東居辺・北居辺	13人	2人	0人	15人																																
上	10人	4人	1人	15人																																
計	33人	15人	1人	49人																																
スクールバス輸送委託事業	スクールバス輸送	町有スクーラバス3台を活用し、3路線の児童生徒の輸送を実施した。 ・契約先:上士幌タクシー有限公司	遠距離児童生徒の通学対策はもとより、少年団所属の児童の送迎に係る負担軽減を進め、保護者の送迎に留意する必要がある。	24,250	当初	教育推進課 総務・学教																														

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名																																																									
		<p>・委託料：24,250,380円</p> <p>路線別児童生徒乗車人員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勢多・秋ヶ岡</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>藤平・清水谷・上土幌</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>東居辺・北居辺</td> <td>16人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28人</td> <td>17人</td> <td>5人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別運行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運行申請者</th> <th>運行台数</th> <th>運行先</th> <th>行 事 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校</td> <td>80</td> <td>町内外</td> <td>中体連・宿泊学習・検診等</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>36</td> <td>〃</td> <td>見学学習・体験学習・検診等</td> </tr> <tr> <td>こども園</td> <td>23</td> <td>〃</td> <td>遠足・5歳児交流等</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>6</td> <td>〃</td> <td>社会教育行事等</td> </tr> <tr> <td>町行事</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>14</td> <td>町内</td> <td>上土幌学(高校)等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>159</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	路線名	小学生	中学生	高校生	計	勢多・秋ヶ岡	3人	5人	0人	8人	藤平・清水谷・上土幌	9人	8人	5人	22人	東居辺・北居辺	16人	4人	0人	20人	計	28人	17人	5人	50人	運行申請者	運行台数	運行先	行 事 内 容	中学校	80	町内外	中体連・宿泊学習・検診等	小学校	36	〃	見学学習・体験学習・検診等	こども園	23	〃	遠足・5歳児交流等	教育委員会	6	〃	社会教育行事等	町行事	0			その他	14	町内	上土幌学(高校)等	計	159			<p>迎に係る負担軽減に努めた。登下校便利用のほか、課外活動や学校行事、社会教育事業等、町有バスの有効利用を図っている。児童生徒の通学にかかる時間に配慮し、路線の検討と利用するバス台数の確保に留意する必要がある。</p>			
路線名	小学生	中学生	高校生	計																																																											
勢多・秋ヶ岡	3人	5人	0人	8人																																																											
藤平・清水谷・上土幌	9人	8人	5人	22人																																																											
東居辺・北居辺	16人	4人	0人	20人																																																											
計	28人	17人	5人	50人																																																											
運行申請者	運行台数	運行先	行 事 内 容																																																												
中学校	80	町内外	中体連・宿泊学習・検診等																																																												
小学校	36	〃	見学学習・体験学習・検診等																																																												
こども園	23	〃	遠足・5歳児交流等																																																												
教育委員会	6	〃	社会教育行事等																																																												
町行事	0																																																														
その他	14	町内	上土幌学(高校)等																																																												
計	159																																																														
教科補助教材整備事業		<p>学校における補助教材費の保護者負担の軽減を図るため、2・3年生は一人あたり2,000円、1年生は一人あたり5,000円の教材費を学校へ配当した。</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	<p>補助教材購入費の保護者負担を軽減する対策を進めた。中学1年生の教材費が他学年に比べ高額であることから、令和2年度より補助額を増額した。今後、使用教材の変化を見極め、負担軽減策を検討していきたい。</p>	369	第10号	教育推進課 総務・学教																																																									
総合的な学習活動推進事業		<p>総合的な学習活動推進事業補助金 587,222円</p> <p>○総合的な学習活動に係る教材費等 259,102円</p> <p>○キヤリア教育「大人トーク」事業費 328,120円</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツリズムトレニング…窪田 亮氏 (認定インストラクター) ・プロビナーチバレー選手に学ぶ…古田 史郎氏、辰巳 彦氏 (プロ選手) ・構図に思いをのせて…岩崎 真示氏 (写真家) ・農業体験学習…西原 正行氏、村上 智之氏 (農業経営者) ・国際理解教育…中山 舞子氏、津守 佑亮氏、延與 由紀氏 (地元企業) <p>ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業</p>	<p>学習指導要領における総合的な学習の時間に必要ない教材等の経費を補助している。また、「外部講師を招いた「大人トーク」の実施により、キヤリア教育の推進に努めている。子どもたちの視野を広げ、将来の自己実現に向けた取組をさらに進める必要がある。</p>	587	当初	教育推進課 総務・学教																																																									

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名
	学校図書館図書整備事業	文部科学省の施策の学校図書館整備等5カ年計画及び上士幌町子ども読書推進計画(令和3年3月策定)に基づく学校図書整備 【上士幌中学校】 587冊購入 蔵書冊数8,422冊 標準冊数達成率87.7% ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業		読書コーナーや司書協力が中心となり、保護者等の協力も得ながら蔵書の整備を進めている。 学校図書館の標準冊数を達成できていない状況であるため、今後の生徒数や学級数の変動を考慮し、書架の整備と図書購入を計画的に進める必要がある。	1,294	当初	教育推進課 総務・学教
	中学校教育充	【中学校特別支援教育担当教諭】 小学校からの切れ目のない支援体制の確立と、他の教科担任の授業力向上を図るため、特別支援教育担当教諭を配置した。 ・配置先：上士幌中学校 ・配置数：2名 ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業		中学校における学びの充実を図るため、特別支援教育担当教諭の配置を行っている。 この配置により、他の教化担任の教材研究や研修機会の確保に加え、習熟度別の指導に努めることができた。 今後は学級数の増減を考慮し、子どもへの学びが充実に向けて必要な人材の配置が求められる。	13,189	第10号	教育推進課 総務・学教
	教師用指導書及び教科書整備	中学校教科書の改訂により、教師用指導書及び教師用教科書を整備した。		教員の授業づくりの参考となる教師用指導書等を整備することができた。 今後教科書の改訂時に整備を進める必要がある。	2,365	当初	教育推進課 総務・学教
	スクールバス更新	町有スクールの老朽化に伴う更新を進めた。 また、外装デザインを公募し、43作品の中から特選1作品を更新するバスに施した。 ・車 両：日野ME L P H A 1台 中型バス41人乗り ・購入額：25,239,500円 (自賠責保険料・重量税・リサイクル預託金を除く額) ・へま地児童生徒援助費補助金：3,750,000円【国庫支出金】 ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金充当事業		購入後11年が経過し、老朽化により修理費がかさんでいたスクールのバスの更新を進めることができた。 今後は児童生徒の通学にかかわる時間に配慮し、路線の検討や利用するバスの台数確保と合わせ、計画的な町有バスの更新を進めていく必要がある。	25,414	第10号	教育推進課 総務・学教

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当
社会教育関係活動(10.4.1)	社会教育関係団体	社会教育委員の会議(①7/12書面②10/7中止) 2名 北部3町社会教育委員研修会(土幌町) 2名 十勝管内社会教育委員研修会(オムライン12/8) 2名 北海道社会教育研究大会(函館市) 中止 北海道社会教育委員長等研修会(札幌市) 中止	社会教育が抱える課題解決に向け、各種研修会への参加により意識の向上を図っている。令和4年度より社会教育中期計画を教育推進計画に統合。	174	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育
	社会教育関係団体	文化協会活動助成(14団体/161名) 99千円 ※返納額133千円 連合PTA活動助成(5単位PTA) 234千円 青年会活動補助金 0千円 ※返納額250千円 ※自己財源のみの活動を行ったため、全額返還。	各団体の活動に対し、補助金を交付し活動を支援している。各団体との情報交換を行いながら、団体が抱える問題等の解決に向けて、支援していく。	333	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育
	成人教育推進	1. 地方創生塾※R3年度中止 青年たちが自らの活動への意欲と情熱を高めるとともに、町内の青年たちとの新たな“つながり”から、自らの生活課題の解消や地域課題解決につながる活動を引きかきとする。 ※道民カレッジ事業(H29～R1)からの町独自で事業継続。 ※コロナ禍のため、R3年度の活動を中止した。 2. シルバー学級開催事業(令和3年度:105名) 例会10回 <6月～3月> ・6月 開級式&町長講話(6/24) 51名 ・7月 足ら刺激!(7/29) 60名 ・8月 お元気度測定会(8/26) 74名 ・9月 健康運動講座(9/30) 68名 ・10月 バイオガスプラント視察(10/28) 66名 ・11月 給食試食&栄養講座(11/25) 69名 ・12月 羊毛クラフト(12/23) 57名 ・1月 映画鑑賞「なつぞら」(1/27) 52名 ・2月 映画鑑賞「ケアニーン2」(2/24) 52名 ・3月 閉級式(3/17) 55名	青年教育並びに家庭教育支援への取組を支援している。町民のニーズにあった講座等を開催するとともに、「まちづくり」へとつながる人材の育成を図っていく。 高齢者の学習機会を提供することにより、自らの課題解決に取り組む方法を学ぶとともに、学級生同士の間にも寄与している。今後、共に楽しく学び合える学習の提供を行い、生涯活躍ににつながるようきょうかづけづくりを行っている。	29	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育
	芸術文化推進	1. 町民文化祭 (1) 展示部門 10/30～31 中止 (2) 芸能部門 10/31 中止 【代替の取組(展示)】 ※生涯学習センタープログラムナード ・上士幌小学校 10/18～12/13 ・押し花展 12/14～12/29	町民の芸術文化活動の発表の場として開催しているが、文化協会との協議を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症予防のため、町民文化祭を中止した。代替の取組として、前年度に参加いただいた方を中心に個別	41	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育

項目	主要な施策	実施	概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当名
		<p>・ファミリー書道展 1/9～1/16</p> <p>・老人写真サークル柏の会 1/17～1/31</p> <p>・伏見書道教室 1/17～1/31</p> <p>・上土幌中学校 2/1～2/28</p> <p>・鉄道展示 2/1～2/14</p> <p>・放課後子ども教室ほか 3/1～3/14</p> <p>・アートクラブ 3/15～3/31</p> <p>※手芸サークル、陶芸サークル、絵手紙サークルは生涯学習センター北入口にて常設展示。</p>	<p>1. 文化賞等の表彰 文化に功績のあった個人・団体を表彰する。</p> <p>・表彰式(生涯学習センター) 3/12</p> <p>・少年文化奨励賞 3個人 2団体</p>	<p>展示を開催するとともに、生涯学習センター北側入口にてサークル活動の成果を常設展示している。</p> <p>今後、町民が楽しみながら、芸術文化活動に取り組みめるような働きかけが必要である。</p>				
	式 人 成 開 催 費	<p>年度内に20歳を迎える方を対象に式を開催している。</p> <p>成人式：1/9(山村開祭センター)</p> <p>対象者：83名※町内在住の方及び町内の学校を卒業された方など</p> <p>出席者：29名(男性13名 女性16名) ※保護者41名 恩師4名</p> <p>※昨年度…対象者75名 出席者26名(男性13名 女性13名)</p>	<p>【主な内容】</p> <p>二十歳の誓い、DVD視聴「ふるさと上土幌」(教委制作)</p> <p>記念写真撮影</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防に配慮するため、式典会場の変更やオンラインでの参加などを可能とした。</p> <p>オンラインでは、式典の様子をライブ配信(許可制)を実施。今後、新型コロナウイルスに限りなく、遠隔地であるために参加できず、新しい成人やその家族にむけて、ライブ配信などを実施していく。成人年齢の引き下げに伴い、令和4年度から名称を「二十歳を祝う会」に変更。</p>	71	当初	生涯学習課 生涯学習・ 社会教育	
	文 化 財 産 保 護 事 業	<p>1. 文化財保護審議会 7/14</p> <p>2. 埋蔵文化財関係 事前協議 3件(うち所在調査2件/試掘調査1件)</p> <p>※萩ヶ岡7遺跡において、試掘調査と本調査への準備</p> <p>3. 埋蔵文化財周辺・町指定文化財パトロール 10/26</p> <p>郷土資料関係</p> <p>4. 道の駅かみほろ「ふるさと展示コーナー」にて、アイヌ協会と連携し、アイヌ関連の展示を行った。</p> <p>町指定文化財等関係</p>	<p>埋蔵文化財や郷土資料の保護保存のための事業を実施した。今後、文化財や郷土資料等、本町の歴史を伝える資料の保存、整理、活用を進めていくとともに、道の駅かみほろなどを活用し、情報がひろく発信していく。また、アイヌ文化の伝承環境事業として、イオールの森の</p>	963	第10号	生涯学習課 生涯学習・ 社会教育		

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予算 算区分	担当 名
		町指定文化財等の点検 11/2 アイヌ文化関係 5. アイヌの森環境整備事業(5月～10月) ※国交付金事業 クチャ(仮小屋)を作ろう!(帯広市主催) 19名 アイヌ文様刺繍講座 6/26、7/10 計15名 上士幌小学校アイヌ文化展示 6. 日本遺産(文化庁) ※有形・無形の文化財をテーマごとにまとめて地域の魅力発信 平成30年5月24日認定 ※本町を含む2市10町 カムイと共に生きる上川アイヌ ～大雪山のふもとに伝承される神々の世界～	整備を行い、利活用の場として、 地元関係機関や帯広市などと連 携しながら、活用していく。			
	萩ヶ岡7遺跡 発掘調査事業	萩ヶ岡7遺跡(調査面積600㎡) ・発掘調査(6月～7月) ・遺物調査(9月～12月) ・出土遺物: 広郷型細石刃核を伴う石器群3,201点	国交付金を活用しながら、本 発掘調査、遺物整理等を実施し 報告書にまとめた。 令和4年度以降、嶋木遺跡の 報告書が完成次第、報告会を实 施する予定。	6,947	第10号	生涯学習課 生涯学習 社会教育
	芸術鑑賞 事業	芸術鑑賞会 1. 音楽「あかちやんとママのジャズデビュー」(2/6) ・一般22名 ・高校生以下9名	新型コロナウイルス感染症対 策を図りながら実施した。 今後も幅広い年代が楽しめる 企画を実施していく。	1,155	第10号	生涯学習課 生涯学習 社会教育
	子どもの夢・ 未来応援事業	子ども教育ビジョンに定める「夢に向かって歩める子ども」を 育成するため、優れた講師を招聘し、講演並びに実技指導の機会 を提供している。 1. 白井健三氏(元体操競技選手)講演会&交流 12/15 ※小中学校全児童・生徒 ※のびのびびびキッズ!参加者15名と保護者	令和3年度から会場を小中学 校となく、参加対象を限定するこ となく、より多くの子どもたち に気づきを与えられるような実 施体制とした。	1,111	当初	生涯学習課 生涯学習 社会教育
	福祉 社故 事	ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業 「生命(いのち)を大切にする日」の啓発 ・町内各小中高校、企業、団体等 ・6月定例議会での黙祷 ・7/10 墓参り	事故を風化させることなく、 「生命(いのち)の尊さ」を訴え ていく必要がある。	7	当初	生涯学習課 生涯学習 社会教育

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当名
	社会教育推進 員活動経費	社会教育推進員(地域おこし協力隊)により、青少年健全育成にかかるとともに読書推進、②コミュニティスクールの推進、③その他、社会教育事業の企画、運営を行っている。	社会教育推進員(地域おこし協力隊)により、青少年健全育成にかかるとともに読書推進、②コミュニティスクールの推進、③その他、社会教育事業の企画、運営を行っている。	地域と学校及び行政のつなぎ役として、また、学校外においても、社会教育の観点から児童生徒の支援を行っている。	909	第10号	生涯学習課 生涯学習・ 社会教育
	コミュニケーション事業	1. 各学校運営協議会開催状況 子ども園1回、上土幌小学校1回(書面)、 上土幌中学校2回、上土幌高校2回 2. 研修等 上土幌町CS研修会 3/22 38名(うちオンライン参加8名) 3. 「ゆめ育応援団」登録状況 94個人、8団体、60企業 ※令和4年3月末 4. 学校支援地域対策経費 学校からの要請に基づき、地域住民の指導等のボランティア参加のコーディネートを実施。	1. 子どもの読書推進 第2期子ども読書推進計画(R3~R7)の策定 読書アンケートの実施(2/14~2/25) 子ども園・各学校の図書環境の整備 学校図書館実務担当者研究協議会 事例発表(8/27) 2. コミュニティスクールの推進 かみしほろ学の企画、運営(上土幌高校) ・年90コマ 上高マツダの企画・運営補助(上土幌高校) ・4商品を道の駅かみしほろにて販売(11/5)	学校・家庭・地域の協働により、子どもたちの健やかな成長を支えるため、コミュニティ・スクール制度を平成28年度より導入している。 今後はさらに、幼保小中高が連携しながら地域ぐるみで子どもを育むための体制整備を行うため、令和4年度より、子ども園、小学校、中学校を一つに統合した協議会へと改編を行う予定。	9,584	第10号	生涯学習課 生涯学習・ 社会教育
	かみしほろ 学園推進事業	・本部総会(書面)、本部役員会6回 1. 総務部 (1)一般救命講習会(7/26~7/27) (2)学園収録、学園日より発行 (3)上土幌高校振興策 ・上土幌高校魅力化ワーキンググループの設置 ・上土幌学等活動報告会 (4)部活動等連携 ・吹奏楽器の修繕	「上土幌町子ども教育ビジョン」の具現化を図るため、かみしほろ学園構想に基づき、平成28年度から各種事業を実施している。 組織は推進本部並びに総務部、連携協働部(2グループ)、研究推進部(2グループ)からなり、各部ごとに幼保小中高一貫	10,378	第10号	生涯学習課 生涯学習・ 社会教育	

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当 名
生涯学習関係 生活動関係 (生涯学習推進費) (10.4.2)	生涯学習フェスティバル	<p>・ジョイントコンサート 中止</p> <p>2. 連携協働部 【連携教育グループ】 (1) かみしほろ学の推進 ・SDGsを踏まえた持続可能な地域社会をつくるための教育 (ESD) 実現に向けふささと学習の体系化 (2) 各種検定推進事業 計延べ277名 (漢字3回延べ152名、英語3回延べ94名、数学2回延べ31名) ・地域間交流の検討 (3) 生徒指導交流/授業交流 ・英語授業交流(5月～2月) ・部活動交流(5月～1月) 【地域協働グループ】 (4) コミュニティ・スクールの推進 中止 ・コミュニティ・スクール委員会 ・コミュニティ・スクール研修会 (3/22)</p> <p>3. 研究推進部 【研修開発グループ】 (1) 教育研究大会 (2) 教育講演会～「ユネスコスクールと一貫教育」 (3) 自己管理手帳「iBノート」の検証・評価・改善 (4) 子育てサポートブック「アーチ」の作成・配布・検証・改善 (5) 特別支援教育事業 【教育研究グループ】 (1) 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究 ・ICTの活用とプログラミング教育の推進 ・学習規律の取り組み (2) 子どもの学力 (CRT) 分析の取組 (3) 教育関係職員の研修の実施 (4) 家庭教育に関する啓発 ・「家庭教育のすすめ」 「家庭学習の手引き」の発行</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業</p>	<p>性的ある教育を進めている。</p> <p>上士幌中学校と上士幌高校との連携事業として、吹奏楽器の修繕等を行っている。 今後各部会ごとに事業の評価検証を行いながら、さらに事業内容の改善を行う必要がある。</p>	609	当初	生涯学習課 生涯学習 社会教育
生涯学習関係 生活動関係 (生涯学習推進費) (10.4.2)	生涯学習フェスティバル	<p>1. 実施期間 8月～2月</p> <p>2. 主催事業 ※町・町教委・商工会・社会福祉協議会が共催 (1) 農商工生涯学習まつり 中止</p>	<p>生涯学習の理念を活かした事業を実施するにあたり、地域や関係機関と連携し、推進していく必要がある。</p>			

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当	名
		<p>実 施 概 要</p> <p>(2)第30回生涯学習ラリィ(10/1～10/31) 120名 (3)かみしほろ塾(総合講座) 2/8※中止 テーマ:「SDGsで未来を拓くー持続可能なまちづくりに向けて」 基調講演…増田明美氏(元陸上競技選手) 講演会</p> <p>3.その他 新型コロナウイルス感染症対策のため、事業中止や縮小により、 返還が生じた。※返納額5,251千円</p> <p><u>ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金充当事業</u></p>	<p>生涯学習ラリィについては、これまで1日開催から、1か月の期間を設け、多様な日時に参加できるように工夫した。</p>				
	生涯学習推進事業	<p>1.生涯学習推進協議会(8/19)</p> <p>2.生涯学習情報委員会(6名)～生涯学習だより発行 ・年間テーマに沿った生涯学習だよりを年間4号発行した。</p> <p>3.「まなびの森」の推進 ・生涯学習に関する事業を体系化し、「まなびの森」として実施している。 ※町広報誌に折込をして発行(前期:5月号、後期:10月号)</p> <p>4.みんなの学び応援事業(旧マイプラン・マイスタディ事業) ※申請なし</p>	<p>生涯学習だよりは、町民が学ぶきっかけとなる素材の提供や実際に学んでいる方々を紹介することによって、生涯学習の普及を図っている。</p> <p>また、「まなびの森」では、生涯学習でできる事業を体系化するということによって、自らが学びたいと思う講座等をあらかじめ決めやすいという利点がある。参加しやすい体制づくりを行うとともに、わかりやすい話面の構成が必要である。</p> <p>「みんなの学び応援事業」は町民の自主性によって、実施している事業に対して、財政的な支援を行っている。</p> <p>今後は、多くの方に事業を活用していただくよう、周知の工夫をしていきたい。</p>	5,219	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育	
	アダプト・プログラム(里親制度)推進事業	<p>町民と行政の協働によるまちづくりを進めるための一方策として平成14年度から導入し、令和3年度は、31団体11個人(のべ1,028名)が登録し活動した。</p> <p>○登録団体 1)3の2区町内会 2)7区中央商店会 3)16区町内会 4)ぬかびら源泉郷を美しくする会 5)上士幌町パークゴルフ協会 6)十勝信用組合上士幌支店 7)七福通り街組合</p>	<p>公共施設・道路等の環境美化活動を通して、連帯感や郷土愛が着実に育まれ、町民協働のまちづくりが実践されている。今後とも、住民の自発的な活動となるように事業の周知を図るとともに、持続的な活動となるよう支援していくことが必要</p>	852	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育	

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当名
青少年教育関係 (青少年教育費) (10.4.3)	生涯学習センター管理運営	<p>8) J-POWERグループ 9) 七友会 10) ひふみ商店会 11) 12区町内会 12) 上士幌高等学校 13) 9区ボランティア 14) 上士幌町管理職会 15) 林野関係連退職者の会上士幌支部 16) 5区商店会 17) 上士幌町商工会女性部 18) 7・8区 19) 4区行政区 20) NPO法人サポーターセンター白樺 21) 上士幌中学校 22) コマクサ会 23) 帯広信用金庫上士幌支店 24) チームYKB 25) 杉森ファミリー 26) 6区町内会 27) 未来 28) 上士幌町青年会 29) 3の1区町内会 30) こぶし会 31) サルビア ※個人登録者については未掲載</p> <p>1. 生涯学習センター利用状況 ・年間開館日数 291日 (※図書館除く) ※12/30～1/5年末年始休館 ※5/18～6/20、8/27～9/30 新型コロナウイルス感染症のため、閉館 ※図書館…6/1～6/20電話予約貸出実施 ・会議室等利用団体数 延べ1,321団体 ・会議室等利用者数 13,992人 1日平均約48人 ・入館カウンター数 267,199人 1日平均約918人</p> <p>2. 生涯学習センター使用料収入 213千円</p> <p>3. 子どもの居場所づくり推進事業 (1) 生涯学習センター及びふれあい公園における遊具の貸出 屋外遊具 (4～10月) 貸出総数 888回 ※9月貸出休止 屋内遊具 貸出総数 799回</p>	<p>町民の誰もが気軽に立ち寄れる居心地の良い場所であるとともに、世代間交流、まちづくりの中核の場となるよう、町民や利用団体とともに適切な運営を行う必要がある。</p> <p>子どもものの居場所づくり推進事業及び放課後対策事業とともに、充実した内容となるよう工夫しながら進めているところであるが、「地域の子どもの地域で育てる」という視点のもと、今後とも地域の力をいいたこととしたい。</p>	39,459	第7号	生涯学習課 生涯学習・社会教育	
青少年教育関係 (青少年教育費) (10.4.3)	<p>1. 各種事業 (1) プロگرامミング教室 (9月～11月) 1年生 全3回 17名 2年生 全3回 17名 3年生 全3回 13名 4年生 全3回 6名 5年生 全3回 7名 6年生 全3回 5名 (2) スクラッチdeゲームをつくろう! (12/11、12/18) 16名</p> <p>2. 放課後対策推進事業 (ほろんクラブ)</p>	<p>青少年健全育成のための学習の場を提供しており、効果を上げている。 変化の激しい社会の中でも力強く生かぬいく力を育成するたため、家庭・学校・地域と連携し、上士幌町の環境を活かした体験活動を推進していく必要がある。</p> <p>放課後や休日における児童の</p>	324	第10号	生涯学習課 生涯学習・社会教育		

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予 算区分	担当名																																					
児童保育所係 関 (10.4.4)	管理運営	<p>小学校における放課後対策の一環として実施している。 上士幌小学校 10回開催 参加者数：延べ576名 ※「ゆめ育」応援団：延べ64名</p> <p>3. 少年会育成委員連絡協議会助成 (単位3少年会) 147千円 ※返納額252千円 (1) 第9回子ども夏まつり 中止 (2) ラジオ体操大作戦 (7/26～8/6 平日のみ10日間) (3) ハロウィーンイベント ～仮装行列 (10/30) ジャックオランタンナイトアツプ (10/30～10/31) (4) 第40回子ども冬まつり 中止 ※代替事業としてふれあい公園に巨大滑り台設置 (建設課協力)、 エンレットの雪像を作成 (少年会)</p> <p>4. かみっ子ふるさと体感塾 (1) 夏「サマーキャンプ」 8/9～8/10 7名 (2) 秋「北部3町ジュニアリーダーキャンプ」 中止 (3) 冬「冬のトレーニングinぬかびら」 中止</p> <p>5. 青少年を守る会会議 7/19 ～夏休み生活のしおり発行</p> <p>6. 青少年を守る会夜間巡視 中止</p> <p>7. 中高生ボランティア養成事業 (中学生4名、高校生5名 計9名) ～自主事業「かみ食カレーライスをつくっちゃお!!」実施 参加8名 ボランティア (高校生) 7名</p> <p>8. フロンティアリーダー養成講座への派遣 (9/18～9/20) 高校生2名</p> <p>ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業</p>	<p>平成27年度から町直営に移行し、子どもたちの保育環境の充実を図った活動を展開している。平成29年6月から生涯学習センター「わかか」に移転するとともに、平成29年度から入所対象児童の拡大など、受け入れ環</p>	14,211	第10号	生涯学習課 生涯学習・ 社会教育																																						
		<p>(1) 入所状況等 (単位：人・日・円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="6">計</th> <th rowspan="2">保育日数</th> </tr> <tr> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> <th>4年生</th> <th>5年生</th> <th>6年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>年度末</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	年度	計						保育日数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	年度当初	21	19	10	11	3	3	67	年度末	21	17	12	7	4	3	64								52				
年度	計						保育日数																																					
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生																																						
年度当初	21	19	10	11	3	3	67																																					
年度末	21	17	12	7	4	3	64																																					
							52																																					

項目	主要な施策	実施	概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当																													
図書館関係(10.4.5)	図書館活動推進事業	<p>(2) 学童保育負担金徴収状況 (単位: 円・%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現年度分</th> <th>徴収額</th> <th>未納額</th> <th>収納率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,428,000</td> <td>2,428,000</td> <td>0</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>190,000</td> <td>10,000</td> <td>5.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,618,000</td> <td>2,438,000</td> <td>93.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 職員の状況 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所長</th> <th>指導員</th> <th>パート</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現年度分	徴収額	未納額	収納率	備考	2,428,000	2,428,000	0	100.0		過年度分	190,000	10,000	5.3		計	2,618,000	2,438,000	93.1		所長	指導員	パート	計	備考	1	4	7	12		<p>図書館利用状況及び資料購入内訳概要等は、下記のとおり。</p> <p>○ 図書館利用貸出統計</p> <p>開館日数 245 日 * 前年度273日 貸出冊数 (個人貸出冊数) 32,650 冊 貸出者数 (個人貸出者数) 7,762 人 年間町民一人あたり貸出冊数 6.61 冊 (令和4年3月末人口4,943人で算出) 団体貸出冊数 5,406 冊</p> <p>○ 図書館資料購入内訳</p> <p>【備品購入費】 単行本等書籍資料 2,900 千円 視聴覚資料 1,582 冊 33 タイトル</p> <p>※ 子どもの本と映像ソフト購入事業による購入分を含む。 内訳は下段説明 (○子どもの本と映像ソフト購入事業) のとおり。</p> <p>【消耗品費】 定期刊行物 638 千円 新聞 54 種 4 紙</p> <p>○ 子どもの本と映像ソフト購入事業 (夢基金充当) ◆ 事業内容: 図書館の児童書、絵本及び映像ソフトの充実を図るとともに、ブックスタート事業として乳幼児の親子に絵本をプレゼントする。 ※ ブックスタート進呈用として毎年購入している絵本2冊を含むブックスタートパックについて、令和3年度はこれまでの在庫で対応したため未購入。 ◆ 事業実績・効果 児童書 (絵本含む) 購入冊数・金額 498冊 821千円 児童向けDVD 購入枚数・金額 10枚 121千円</p>	<p>境の改善を行った。 今後子どもたちの健やかな成長を支えるため、施設の特徴を活かした保育内容の充実と関係機関との連携を進めて行く必要がある。</p>	11,359	第10号	生涯学習課 図書館担当
現年度分	徴収額	未納額	収納率	備考																																	
2,428,000	2,428,000	0	100.0																																		
過年度分	190,000	10,000	5.3																																		
計	2,618,000	2,438,000	93.1																																		
所長	指導員	パート	計	備考																																	
1	4	7	12																																		

項目	主要な施策	実施	概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当	名
保健興振 (10.5.1)	図書館更新事業	小・中・高校生の図書館利用(貸出人数・冊数)1,004人、5,132冊 ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業	図書館情報システム更新(9月下旬更新、10月1日新システム稼働)前回の更新から7年が経過し、故障した場合の部品供給やサポートを受けることが困難になったため。 ○更新経費 【委託料】図書館情報システム導入(更新)業務 5,170千円 【役務費】新システム運用に伴う光回線敷設工事 14千円	システム更新により、円滑な運用が図られている。	5,184	第10号	生涯学習課 図書館担当	
	スポーツ推進委員会活動	スポーツ推進委員会協議会(①7月21日書面中止 ②10月8日 ③2月28日) 十勝管内スポーツ推進委員会 北海道スポーツ推進委員会 各種スポーツ大会等への協力	12回 延べ 97名 中止 2回 延べ 19名 1回 延べ 18名 18回 延べ 523名 上士幌町子ども体力向上プロジェクト 「かみしほろのびのびキッズ!」【協力:帯広畜産大学 ちくだいKIP】 24回 延べ 364名 ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業	社会体育事業等への指導、助言をはじめ、各種スポーツ振興に努めた。 町内の各種大会等にも積極的に参加、協力を得ている。	115	第10号	生涯学習課 社会体育	
	スポーツ教室及び講習会の開催	子ども水泳教室(2クラス) 短期集中!子ども水泳教室 ヨガ体験会 ボッチャ実技研修会 かみしほろ健康ウォーキング 上士幌町子ども体力向上プロジェクト 「かみしほろのびのびキッズ!」【協力:帯広畜産大学 ちくだいKIP】 24回 延べ 364名 ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業	町民ニーズの把握による事業展開とスポーツ活動の普及推進を図り、健康増進を図った。 健康ポイント事業と連携したウォーキングを実施し町民の健康増進に寄与した。 また、例年、上士幌町の子どもの体力は、全国・全道平均と比較して低い傾向にあるため、新たに体力向上プログラムを展開した。その結果、参加者の体力も向上した。 コロナ禍においても、より多くの町民が参加できるように感染症対策等の実施を図る。	1,468	第10号	生涯学習課 社会体育		
	スポーツ大会の開催	町民スポーツ祭(8月2日～11月13日 中止) 水中レクリエーション祭 44名 町民スケート大会(2月5日)	町民スポーツ祭(8月2日～11月13日 中止) 7競技開催) 延べ239名	スポーツ行事を幅広く提供し、技術力の向上と健康・体力づくりに努め、町民相互の交流を深	463	第10号	生涯学習課 社会体育	

項目	主要な施策	実施概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当	名
		町民歩くスキーの集い 北部方面スピードスケート競技大会(1月15日) 127名 中止		参加しやすいくらい種目、魅力ある大会を目指し、体づくり運動の日常化を図る必要がある。				
	スポーツ振興	全道及び全国大会等に参加する団体及び個人等に対して、旅費及び参加料等を助成 申請件数：10件 申請人数：38名 ※内訳：個人、団体大会(選手27名・引率11名) ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業		優秀な成績を収め、全道及び全国大会等に参加する団体及び個人の活動を評価・奨励した。	1,401	第10号	生涯学習課 社会体育	
	施設管理	野外体育施設等の維持管理経費等 ・町民サッカーグラウンド芝維持管理業務、ゲートボール場管理委託等 ・サッカーグラウンド雑草駆除		体育施設等の適正な維持管理と施設の充実を図り、町民の健康増進と体力向上に努めた。	8,421	第10号	生涯学習課 社会体育	
	リンク造成及び維持管理	町民スケートリンクの造成及び管理委託 ・開放日数 47日 ・利用者数 1,396名(1日平均 29名) 上士幌小学校スケートリンクの造成委託		冬期間の子どもたちの健康増進と体力向上に努めている。今後もスケート少年団や体育連盟とも連携して施設の利用促進を進める必要がある。	2,489	当初	生涯学習課 社会体育	
	スポーツ表彰	3月12日 生涯学習センター 4団体・13個人 少年スポーツ賞(個人) 2名 少年スポーツ奨励賞(個人) 5名 少年スポーツ奨励賞(団体) 2団体 少年スポーツ努力賞(個人) 6名 少年スポーツ努力賞(団体) 2団体		地域及び団体の体育レクリエーションの普及発展に貢献した者及び各種大会で優秀な成績を収めた個人・団体を表彰した。新型コロナウイルス感染症予防として、被表彰者及び家族のみの来場で開催した。	65	当初	生涯学習課 社会体育	
	スポーツ普及	ぬかびら源泉郷スキー場シーズンパスポートの発行 利用実績 小学生 延べ 163名 小学生スキー教室 延べ 231名 中止 ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業		町内の小・中学生を対象に、スキーの普及拡大を推進し、健康増進と体力向上を図っている。今後ともシーズンパスポートの交付によるスキー場の利用拡大とスキー人口の増加に努める必要がある。	510	当初	生涯学習課 社会体育	

項目	主要な施策	実施	概要	要	事業効果及び今後の課題	決算額 (千円)	最終予算 区分	担当	名												
スポーツ関係 (10.5.2)	スポーツ団体の育成	体育連盟活動助成 スポーツ少年団活動助成	(15団体 481名) (9団体 97名)	655千円 195千円	体育連盟加入団体の会員の高齢化により、一部の団体で自主運営が年々難しくなっている。新たな会員の発掘と育成が課題となり、各団体とも情報交換を行いながら、団体が抱える問題等の解決に向けて支援していく。	959	第10号	生涯学習課 社会体育													
スポーツ関係 (10.5.3)	スポーツセンター管理運営	スポーツセンター施設維持管理経費	・開館日数 258日 (緊急事態宣言による閉館5/18～6/20) 8/27～9/30) ・利用者数 19,274名 (1日平均 74名)		町民の健康増進と体力向上に効果を上げている。また、施設の安全性を確保するとともに老朽化している備品等の更新と施設の充実を図っている。引き継ぎ、老朽化している備品等の計画的な更新に努め、感染症対策を講じながら町民が安心して施設を使用することができるよう維持管理を行う必要がある。	13,565	第10号	生涯学習課 社会体育													
給食センター関係 (10.5.3)	給食センター運営	児童生徒の健全な心身の成長、愛を育み、食生活のめまぐるしい変化に伴うニーズの多様化に対応すべく、食材の検討をしながら献立を創意工夫し、進めてきた。 ・安全でおいしい給食の供給 ・アレルギーマスターに配慮した給食の供給 ・学校訪問による食の指導 ・地域特産品の活用に向けた給食の検討、供給	賄材料費 28,613,071円		「学校給食衛生管理基準」に基づき、より一層の衛生管理の改善及び食品衛生防止に努める必要がある。食育についてはさらなる充実が求められる。アレルギーマスターに係る給食の供給については、町策定の「学校給食における食物アレルギー対応の指針」に従い、保護者・学校と連携を取り合いながら、児童生徒に安全な給食を提供している。	28,613	当初	教育推進課 学校給食													
給食センター関係 維持管理		学校給食供給実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>供給数量(食)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>50,736</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>29,839</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>25,991</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,110</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>108,676</td> </tr> </tbody> </table>	区分	供給数量(食)	小学校	50,736	中学校	29,839	高校	25,991	その他	2,110	合計	108,676		調理機器等関係では、プレハブ冷蔵庫及びプレハブ冷凍庫の	34,522	第7号	教育推進課 学校給食	
区分	供給数量(食)																				
小学校	50,736																				
中学校	29,839																				
高校	25,991																				
その他	2,110																				
合計	108,676																				
			ふるさと納税・子育て少子化対策基金充当事業																		
			平成12年4月に供給開始して以来、児童生徒に安全で衛生的な学校給食を供給してきた。食材についても、できる限り地産地消に配慮し、																		

項目	主要な施策	実施概要	事業効果及び今後の課題	決算額(千円)	最終予算区分	担当																									
		<p>おいしく変化に富んだメニューの提供を行ってきた。管理面においては、衛生的で安定した運営ができるよう施設、機械等の修繕、点検、清掃を行ってきた。</p> <p>具体的内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設、設備の保守、点検、修理 職員の便検査の実施(月2回) 賠償保険の加入 児童、生徒、保護者に予防・衛生・食に関する情報の提供(給食日より) <p>予算執行実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の便検査の回数等の充実 160,072 円 賠償保険の加入 14,400 円 施設、機械等修理(備品購入含む) 4,868,284 円 委託料 施設警備業務(年間) 158,400 円 特別清掃業務(年2回) 528,000 円 ボイラー保守点検(年間) 1,694,000 円 消防用施設総点検(年2回) 91,520 円 電気保安管理業務(年間) 224,400 円 給食残飯処理業務(年間) 425,700 円 給食配送業務(年間) 4,175,060 円 貯水槽清掃業務(年1回) 94,600 円 自動ドア保守管理業務(年2回) 110,000 円 調理室汚泥処理業務(年間) 264,000 円 ボイラー・煤煙測定分析業務(年1回) 17,600 円 ねずみ・昆虫等防除業務(年2回) 115,500 円 給食システム運用保守業務(年間) 202,400 円 	<p>令和4年度は、食器・トレー及び電気制御盤の更新を行う。耐用年数が過ぎている調理機器等が多数あるため、計画的に更新を行う必要がある。</p> <p>設備関係では、温水ヘッダーバルブ交換、給湯ミキシング装置修繕、冷却機冷温水ユニットの更新及び廃水処理施設回転円板装置の部品交換を行う。給食センターは、築20年以上が経過して設備の不具合が頻発に発生し、施設の老朽化も著しいことから、設備の更新や施設改修を計画的に行う必要がある。</p> <p>令和4年1月に空調機の故障があったことから、その後、機械等の修繕が必要となる場合に備え、学校給食費全体で対応ができたため、多額の執行残が生じた。</p>																												
	<p>学校給食費負担金の徴収</p>	<p>徴収については、現年度分に重点をおきつつ、過年度分も併せて、督促文書、電話等を通して未納世帯に納入を促してきた。</p> <p>未納世帯の実情も考慮しながら、収納向上に努めてきた。</p>	<p>町民課、保健福祉課等とも連携・協議しながら徴収に努める必要がある。</p>			教育推進課 学校給食																									
		令和3年度収納状況 (単位：円、%)																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現年度</th> <th>過年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査額</td> <td>25,181,639</td> <td>3,068,771</td> <td>28,250,410</td> </tr> <tr> <td>収入済額</td> <td>25,011,992</td> <td>0</td> <td>25,011,992</td> </tr> <tr> <td>未納欠損処分額</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>未収入額</td> <td>169,647</td> <td>3,068,771</td> <td>3,238,418</td> </tr> <tr> <td>収納率</td> <td>99.33</td> <td>0.00</td> <td>88.54</td> </tr> </tbody> </table>			現年度	過年度	合計	調査額	25,181,639	3,068,771	28,250,410	収入済額	25,011,992	0	25,011,992	未納欠損処分額	—	—	—	未収入額	169,647	3,068,771	3,238,418	収納率	99.33	0.00	88.54				
	現年度	過年度	合計																												
調査額	25,181,639	3,068,771	28,250,410																												
収入済額	25,011,992	0	25,011,992																												
未納欠損処分額	—	—	—																												
未収入額	169,647	3,068,771	3,238,418																												
収納率	99.33	0.00	88.54																												

